

令和6年1月17日開催時 各団体の取組状況

	令和5年度取組状況	令和6年度事業計画
刈谷医師会	・医療介護関係者用の研修会（年1回） 11月に褥瘡に関する研修会実施。 ・地域向けの普及啓発として、市民講座を100人規模で実施。 7月にがんばらない介護の講座を実施。 ・医療資源については、在宅医療を担当している、刈谷・知立・高浜の委員に看取りまでやるかの確認と、後方支援ベッドの連携をお願いしている。 ・老人クラブ等への出張講演	・多職種研修会開催予定。テーマ「患者の意思決定支援についての理解を深める」。 ・多職種交流会開催予定（R6.1～3月予定）事例検討及び顔の見える関係づくりをテーマとして開催。 ・医療資源の把握として、認知症対応能力研修を受講した医師については名簿にし市のホームページに掲載予定。 ・老人クラブ等への出張講演
刈谷市歯科医師会	・施設訪問、在宅訪問実施。患者がどこに連絡したらいいか分からない、食べられなくなった等あれば歯科医師会へ連絡をしてほしい。 R5年度の実績は別紙1～1参照	・施設訪問、在宅歯科診療を実施。治療だけではなく口腔衛生の改善を図る（予防）目的で実施。訪問診療ができる体制が歯科医院によって異なるため、歯科医師会として研修会を開催している。 ・施設入居者等のオーラルケアがレベルアップするような研修会等も検討中。
刈谷市薬剤師会	・福祉健康フェスティバルで相談会を実施。在宅や介護についてどこに相談すれば良いのか分からない参加者が多い。糖尿病のある人の地域連携についての研修会を企画。	欠席
刈谷豊田総合病院	・刈谷知立高浜在宅医療相談支援センターの報告。相談件数は減少傾向。昨年、一昨年はコロナに関する相談が多かった現状で、今はコロナが落ち着いてきているため、相談件数も減少していると考えられる。相談内容は、安否確認、どこにかかったら良いかが多い。 ・地域医療支援病院としての役割機能の維持向上。 ・元日の災害では、DMAT、災害支援ナースを派遣。派遣後には、現状の振り返りをし、今後この地域で起きた時の取組について、地域の方々と共に考えていかなければならないと話を進めている。 ・情報発信としては、地連ほっとラインを定期配信、LINEやインスタグラム等を行っている。 ・医師向けの各種症例検討会、薬剤やSTの勉強会、KRCとして年2回行っている。 ・担当医連絡票については、今年度12月時点で416件活用している。 R5年度の実績は別紙1～2参照	・令和6年4月の診療報酬改定に伴い、急性期機能をより強化しなければいけないが、医療がまだ必要な状態であるのに在宅に戻るようになることが予測されるため、地域とどのように連携すれば良いか検討中。急性期医療について多くの人に知っていただくために、多職種に参加してもらえる研修を開催予定。歯科研修については既に実施済み。 ・診療報酬改定の3本柱（リハビリ、栄養、口腔管理）の院内でも強化しながら、次に引き継いでいくことをより強化していく。
社会福祉協議会	・ICTの導入により、ヘルパーの訪問実績が入力でき、多職種連携は順調に進んでいる。スマートフォンの機種変更済み。BCP（感染症と自然災害の発生）については書類整った。自然災害のシュミレーション実施。 ・障害サービス事業所がいくつか撤退し、社協に相談があるが、全部を受けることができない状況。ハローワークや社協だより、インスタグラムを活用して随時ヘルパーを募集している。	・4月に社協だよりを出したら、問い合わせあり3名面接し、2名採用。ヘルパー募集は引き続き行っていく。 ・BCPについては、シュミレーション訓練を行った上での不足事項について、今年度実施予定。
刈谷・知立・高浜訪問看護ステーション連絡協議会	・BCPの策定について話を進めている。他の事業所と横のつながりにおいて、どういった連絡ツールを活用できるかという点で電子連絡帳を活用して共有できないか模索中。また、地域の医療機関や調剤薬局とどうつながっていくか検討してる中で、医師会に向けてのお願いをまとめているところ。	・訪問看護を地域に知ってもらうための広報活動にも力を入れていきたい。地域との連携強化+（勉強会や地域のサロンの参加、ACPの勉強会、相談窓口の設置等）。 ・福祉健康フェスティバルに参加予定（10月）。 ・BCPについては、シュミレーション訓練を行い、災害時に連携できるように連絡ツールの活用を検討していく。 ・訪問薬剤師との情報共有が不足していると感じるので、情報共有の方法の検討と連携体制の構築について取り組んでいきたい。

令和6年1月17日開催時 各団体の取組状況

	令和5年度取組状況	令和6年度事業計画
刈谷市療法士連絡会	・6月に療法士会定期総会を行っている。登録施設が31施設、総合事業登録者が82名。 ・福祉健康フェスティバルに出展し、リハビリ専門職による身体機能チェックを行い、約300名の市民に対応した。 ・刈谷市生活機能向上訪問事業で、療法士が利用者の自宅へ行って、リハビリを提供している。依頼者数22名で、48回訪問している。コロナ禍の2018年が13名だったため、増加している。 ・刈谷市地域リハビリテーション活動支援事業については、地域のサロンに療法士が行き、体力測定、運動指導、講話を行っている。依頼は6件。 ・小児の疾患や療育に課題を持っている方や、そういった施設も多数あるため、小児に関わる療法士の集まりを来月開催し、市内の小児の方に対して何かアプローチできないか検討していく予定。	・6月に療法士会定期総会を行っている。 ・介護予防日常生活総合支援事業について長寿課と取り組んでいく。 ・福祉健康フェスティバルに出展予定。(10月)啓蒙等行っていきたい。 ・刈谷市地域リハビリテーション活動支援事業については、地域のサロンに療法士が行き、体力測定、運動指導、講話を行っている。既に何件か依頼をもらっている。 ・シェアパートナー養成講座開催予定。
刈谷市ケアマネ連絡会	・月1回役員会、刈谷豊田総合病院と介護支援専門員の連携会議(2回)、主任ケアマネ更新要件を満たす研修会、刈谷市懇話会、要保護者対策地域協議会、福祉有償運送協議会。2月にアルコールについて、刈谷病院の古川医師を招いて研修実施。事例検討実施。 ・BCP策定 ・ケアマネ交流会実施予定。対面型の研修を中心とし、顔の見える関係づくりをより深めていきたいと考えている。	・月1回役員会、刈谷豊田総合病院と介護支援専門員の連携会議(2回)、主任ケアマネ更新要件を満たす研修会(BCP、ACP、カスハラ等)、刈谷市懇話会、要保護者対策地域協議会、福祉有償運送協議会への参加。
愛知県歯科衛生士会	・地域包括ケアの対応歯科衛生士養成事業として、自立支援や要介護高齢者の支援を主体に実践できる歯科衛生士の指導者になれる歯科衛生士を要請するため、年に1回研修会開催。 ・地域ごとの地域ケア会議に出席。西尾市では、多職種連携のカンファレンスに年24回参加、安城市では自立支援の会議に年8回参加している。	・地域包括ケアの対応歯科衛生士養成事業として、自立支援や要介護高齢者の支援を主体に実践できる歯科衛生士の指導者になれる歯科衛生士を要請するため、年に1回研修会開催。
地域包括支援センター	・自立支援型地域ケア会議を実施。 ・市内6か所の地域包括支援センターと基幹包括の主任ケアマネで月1回、主任ケアマネ部会を行っている。 ・ケアマネ歴3年未満の方を対象に、ケアマネ交流会を2か月に1回開催。 ・各サービス事業所やケアマネから困ったケースの相談を受けている。地域包括支援センターだけでは対応が難しいケースの後方支援として、ケース会議を行っている。	別紙1-3参照 ・自立支援型地域ケア会議を実施。 ・市内6か所の地域包括支援センターと基幹包括の主任ケアマネで月1回、主任ケアマネ部会を行っている。 ・各サービス事業所やケアマネから困ったケースの相談を受けている。地域包括支援センターだけでは対応が難しいケースの後方支援として、多職種でのケース会議を行っている。
衣浦東部保健所	・令和3年度から、ケアマネ・事業所向けに介護保険を利用する患者に向けて病院の窓口一覧を作成。 ・刈谷市、安城市、知立市、高浜市の会議に出席。西三河医療圏在宅医療介護連携推進事業担当者会議にも出席。 ・個別支援として、アルコールなどの精神の方や結核、難病の方の個別支援に関わっている。介護の分野ではアルコールが問題になっているため、支援者向けのアルコール相談対応技術研修会を開催。 ・神経系の難病の方(ALS等)など、病気の進行に伴い、胃ろうや人工呼吸器など医療的処置を意思決定する場面に立ち会うこともあるため、関係機関と情報共有して支援を行っている。	・ケアマネ・事業所向けに介護保険を利用する患者に向けて病院の窓口一覧を6月中旬までに作成。 ・各市の会議に出席予定。西三河医療圏在宅医療介護連携推進事業担当者会議にも出席。 ・8月2日、28日にアルコール関係の研修を開催予定(医師は刈谷病院の医師に依頼)。 ・個別支援として、アルコールなどの精神の方や結核、難病の方の個別支援に関わっている。高齢者が増加している。既に市が支援している場合が多いため、連携を図りたい。 ・えんjoyネットでの情報の把握と一緒に支援したほうが良いケースがあれば連絡がほしい。